

## 全社規模での業務処理と部門間のコラボレーションを可能にした ORACLE 11i へのアップグレード

*シスコ IT は製造、財務部門のプラットフォームの大規模なアップグレードを成功させました。*

シスコの製造および財務部門で働く何千人もの従業員は、旧式のデータプラットフォームに頼って日常業務を行っていました。Oracle 10x ソフトウェアを使っても業務は行えていたものの、シスコの IT インフラの中核であるこの部分は新しくすべきであるというのが、IT、オペレーションズ、およびエグゼクティブチームの一致した見解でした。古いプラットフォームにはつきものの数々の問題を回避することこそがこの一大プロジェクトを推し進める原動力となったのです。特に、旧来の Oracle プラットフォームでは、将来的に新しいソリューションを展開する際の足かせになりかねません。また、旧バージョンの Oracle ソフトウェアでは、強化機能やその他のソフトウェアの導入が難しく、時間もかかるため、サポート経費も徐々に増大していました。

### ビジネス上の利点

- 完全にサポートされた最新のプラットフォーム
- 最新のアーキテクチャ
- プロセス指向の業務をサポート
- 複数部門のコラボレーション
- 軽量クライアントモデルと多重化構成

「Oracle 11i は完璧に導入されました」  
-- John Chambers, Pres., CEO, Cisco

アップグレードの規模が大きな課題となったのは、社内全体にわたって社内データへの継続的なアクセスを保証する必要があったからです。シスコでは、1995 年以来 Oracle 社のアプリケーションを利用し続けており、現在ではあらゆる部門が影響をうけています。エグゼクティブと IT チームでは、システム導入と Y2K 対応時のアップグレードの経験から、プロジェクトの影響の大きさと、この規模のプロジェクトでのリスク緩和に対する懸念がどれほどのものかをよく理解していました。特に、最後のアップグレード以降、シスコの規模は大幅に拡大しており、Oracle のプラットフォームに支えられたビジネスプロセスはかなり複雑になっていることがわかっていました。

プロジェクトを成功させるには、エグゼクティブチームによる継続した関与と、リソース管理という最高水準のサポートが必要でした。この大規模

IT プロジェクトは、トップダウン方式による会社全体からの最高水準の協力にかかっていたからです。プロジェクトは、複数のビジネスプロセスエリアのコラボレーション、厳密なプロジェクト管理、厳格なガバナンスとメトリック管理により成功を収めました。プロセスの全過程をあらかじめデザインしてリスクを最小限に抑え、チーム全体で何度もリハーサルを行い、本稼動当日に不測の事態が起こらないようにしました。

この新しいプラットフォームへの移行は、2003 年末に3連休の週末を利用して行われました。移行は予定より1日早く完了し、財務、製造部門全体が新しい Oracle 11i 環境にアップグレードされました。何度もリハーサルを重ね、不測の事態にも備えていたことでアップグレードは完璧に行われたのです。企業のデータベースは期間中、たった1日アクセスが制限されただけでした。

*厳格なガバナンスと度重なるリハーサルにより、  
大規模アップグレードに新たな一歩が刻まれました。*

その他、各ビジネスソリューションに対する Cisco IT の事例研究は、  
Cisco IT @ Work をご覧ください

<http://www.cisco.com/jp> (シスコシステムズ→Cisco IT@ Work)

### 付記

この文書に記載されている事例は、シスコが自社製品の展開によって得たものであり、この結果には様々な要因が関連していると考えられるため、同様の結果を別の事例で得られることを保証するものではありません。

この文書は、明示、黙示に関わらず、商品性の保証や特定用途への適合性を含む、いかなる保証をも与えるものではありません。

司法権によっては、明示、黙示に関わらず上記免責を認めない場合があります。その場合、この免責事項は適用されないことがあります。

©2005 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、登録商標または登録サービスマークです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

<http://www.cisco.com/jp>

お問合せ先(シスココンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

© 2005 Cisco Systems, Inc. All right reserved.

Important notices, privacy statements, and trademarks of Cisco Systems, Inc. can be found on [cisco.com](http://cisco.com)

Page 2 of 2